

「結」の思い  
支援本部長から



次世代を担う中学生達に「生きる力」をはぐくむ体験学習のサポートを多くの方々のご協力をいただき、順調に行えていることから心から感謝しています。社会がますます複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する中で、人を思いやること、自然やものを大切にすること、社会のルールを守ることなどについて、子どもたちに適切な働きかけを行う力が求められています。学校だけが役割と責任を負うのではなく、これまで以上に家庭や地域が支援することにより、先生が、より教育活動に専念でき、より多くの時間を子どもと向き合うことや授業準備等に充てられるようになります。充実した教育活動のために、一人でも多くの方々の「結」への参加をお待ちしております。(篠原宣武)

「結」の運営



■みんなで決める

年間活動計画や予算などは、学校の依頼や事業部からの提案を受けて、各事業部代表や正副本部長、事務局で構成される役員会で話し合っています。

■みんなで共有

各事業部の活動は、2ヶ月毎にまとめた活動報告等で共有するように心がけています。

■事務局の役割は環境整備

学校からの依頼や必要な情報を事業部や外部講師・サポーターにつなげ、事業部の活動や授業等の支援がスムーズに行われるための、ソフト・ハード両面からの環境整備が事務局の仕事です。

■学校支援本部室は活動の拠点

中瀬中玄関脇の便利な場所に用意されている支援本部室は、各事業部の会議・作業、講師やサポーターの控え室、事務室として活用されています。

窓からは、校庭で運動する中瀬中生の様子が見られ、いつも子どもたちの元気ももらっています。